

# ARでのぞいてみよう! 未来へつなぐ淡路のわ

2029年、新しい広域ごみ処理施設が誕生します



スマホをかざすと、未来の施設が目の前に!  
この窓から新しいごみ処理施設を、  
AR(拡張現実)で一足先に体験できるよ!!  
家族やお友達といっしょに、ぜひ覗いてみてね!

オニオンリング族 **タマジマさん**

淡路島の自然と人々の暮らしを見守りながら、  
玉ねぎの「輪(わ)」が教えてくれる  
“循環”の大切さを語りつづけている「循環の語り部」。  
好きな言葉は「まわりまわって、みんなハッピー!」

## ARの見方

スタンドの二次元コードをカメラで読み込んで  
AR用のWEBサイトに接続したあと、  
リングの穴から窓の外を撮影してください



## 淡路地域広域ごみ処理施設とは?

洲本市・南あわじ市・淡路市の3市から出るごみを、  
安全に、そしてむだなく処理するための新しい施設です。

point 1

### 安全・安心で安定したごみ処理

- 高度な燃焼制御と、効率のよい排ガス処理で国の環境基準をしっかりとクリア
- ごみ処理で出る排水や生活排水は循環利用や焼却処理を行い、場外には流さない「無放流方式」を採用
- 耐震性に優れ、非常用電源も備えた、災害に強い施設

point 2

### 資源をいかし、CO<sub>2</sub>を減らすエネルギー回収施設

- 焼却の熱エネルギーを蒸気として回収し、タービンを回して発電
- 発電した電力で施設の電気をまかない、余った分は売電します。ごみをもう一度「エネルギー」というかたちで未来へつなげる施設

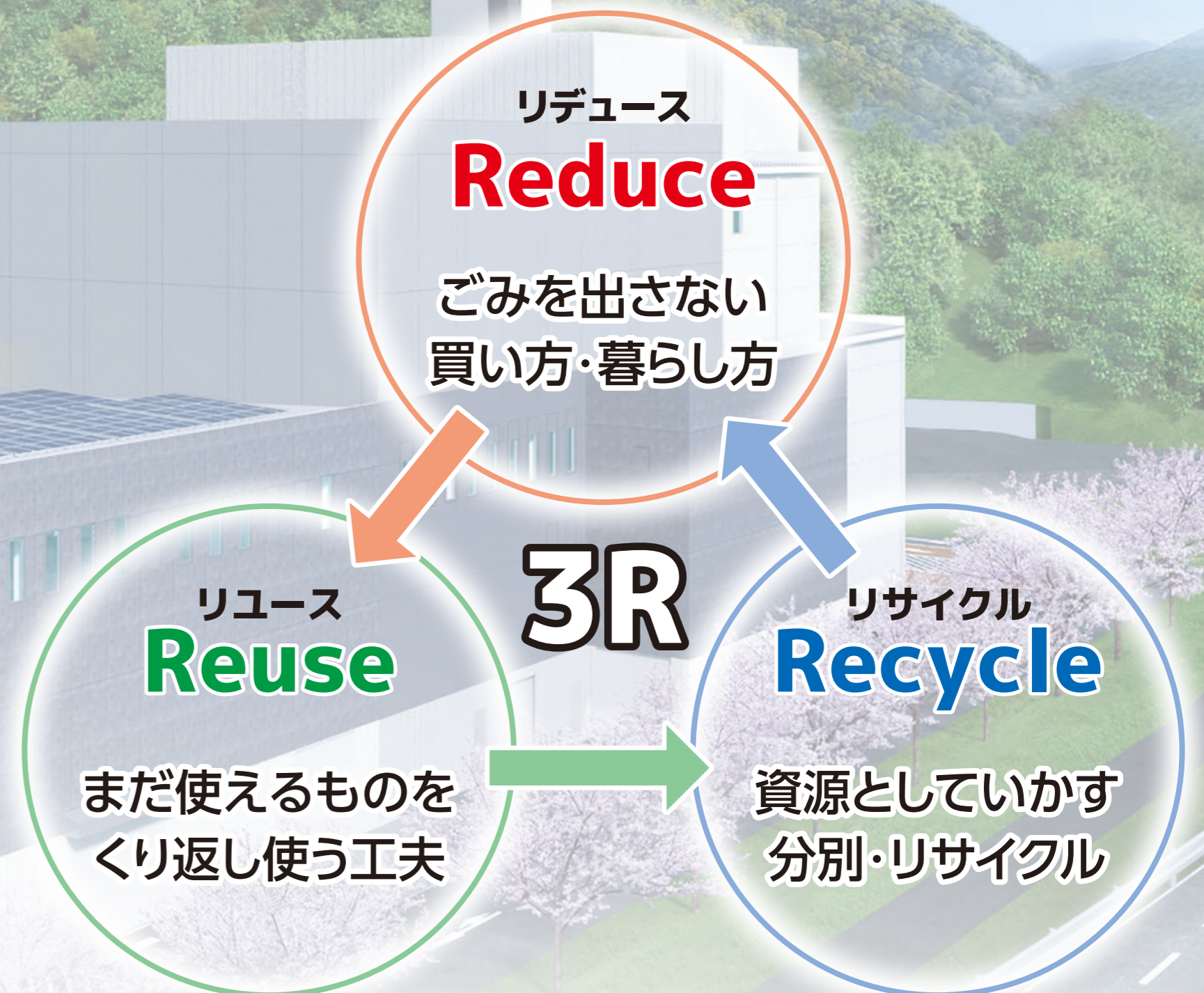
point 3

### 地域とともに歩む施設

- 淡路瓦などできるだけ地場産の建材を活用し、地域の産業とつながる
- 周辺環境に配慮した外観や緑化で、まちの景観になじむ施設づくりをめざす
- 見学通路やパネル展示などを整え、子どもから大人まで環境について学べる場に

## すてない・へらす・いかす。 新しい施設で、3Rを楽しく学ぼう

新しくできる淡路地域広域ごみ処理施設では、  
環境に配慮した最新のごみ処理機能にくわえて、  
見学コースで楽しく3R(リデュース・リユース・リサイクル)を学べます。  
施設見学とあわせて、ひとりひとりの3Rの工夫で、  
淡路島の自然を守っていきましょう。



• 事業主体:淡路広域行政事務組合 • 事業名:淡路地域広域ごみ処理施設整備・運営事業 • 設計・施工:川重・淡路土建・光洋建設・ツダ特定建設工事共同企業体  
• 建設場所:南あわじ市広田広田地内(現やまなみ苑西隣) • 施設概要:エネルギー回収型廃棄物処理施設 ストーカ式焼却炉 153t/24h • 完工予定日:令和11年3月31日  
• 運営期間:令和11年4月1日~令和31年3月31日(20年間) • 運営事業者:川崎重工業(株)、カワサキグリーンテック(株)、(株)日本管財環境サービスによる特別目的会社

未来へつなぐ淡路の



この施設は、

- ①安全・安心なごみ処理 ②循環型・低炭素社会への貢献 ③災害に強いしくみ  
④地域に新たな価値を生み出すこと ⑤地場産建材の活用 ⑥経済性・効率性の両立  
という6つの基本コンセプトのもと、地域のみなさまとともにつくり上げていきます。